

H29春に開催の「市長と語る会」での提言等と回答要旨に対する進捗状況について

早月加積地区

提言等の項目	H29春に開催の「市長と語る会」	
	皆さまからいただいた主な提言等	その際の回答要旨
①雨水対策	早月加積地区に企業の進出による工場建設があると聞いているが、雨水の用水への流入による洪水が心配である。市として建設を注視し、必要に応じ指導をしてほしい。	雨水対策については重々承知しており、企業には用水を管理している土地改良区とも調整を行うようお伝えしていますが、工場の建設がより具体的な計画になれば市としてもしっかりと対応したいと考えています。また、地区内の既存水路を改修することで雨水対策ができないか県や土地改良区と調整しています。
②東部小駐車場	東部小学校の駐車場が少ないので増設してほしい。	東部小学校ではこれまでも空きスペースの活用や駐車枠線の変更を行っています。駐車場のさらなる確保については他の地区からも要望をいただいております。検討させていただきます。
③コミバス	吉浦公民館利用者にとってコミュニティバスの停留所が公民館前にあると便利だが、前面道路が狭いので難しいとのことだった。道路を拡幅してほしい。	コミュニティバスの停留所の位置と道路拡幅については、関係各所と協議して検討します。
④給食	給食においては、地元の食材を多く使用していただきたい。また、食品添加物についてはできる限り使用しないほしい。	市の給食においては、市産のお米のほか、市産・県産の食材を多く取り入れています。また、出汁は昆布や煮干から取るなどこだわっており、極力食品添加物を使用しないようにしています。
⑤遊具	中村アメニティセンター横のちびっこ広場にあるうんていや鉄棒が錆びており、取り替えてほしい。	鉄棒等の状態については、すぐに現地を確認し、交換が必要なら対応します。
⑥学童保育	学童保育は、児童の増加により部屋が狭く、危ない場面がある。そのため、部屋や指導員を増やし、手当てを充実させてほしいが、市の考えは。	他の地区においても、学童保育の対象学年の引き上げによる児童の増加もあり、同様の要望をいただいています。小学校からは空き教室がないと聞いていますが、活用できる部屋がないか点検したいと考えており、指導員の充実等も含め今後の検討課題とさせていただきます。
⑦出産への励み	昔と違い、現在は4人、5人と子どもを生む人が少なくなっている。子ども第一主義の次の一手として、子沢山の家庭を表彰したり、広報で取り上げていただくなど、他の方への励みになる取り組みをしてほしい。	ご提言について、ぜひ検討します。

H29春に開催の「市長と語る会」での提言等と回答要旨に対する進捗状況について

早月加積地区

提言等の項目	H29春に開催の「市長と語る会」	
	皆さまからいただいた主な提言等	その際の回答要旨
⑧災害協定	市では市内企業と災害時の避難所としての協定を結んでいるのか。 早月中学校下にある企業とも協定を結んでほしい。	市では、現在日医工と避難所の協定を結んでいます。 早月中学校下にある企業への災害時の避難については、地元の要望が強いようでしたら、当該企業が災害時の避難場所として適切か慎重に判断したうえで検討します。また、以前お配りした津波ハザードマップにおいては、最新のデータを反映させたものを配布したいと考えています。
⑨カラス駆除	市でカラスの駆除を行うという案内はあるが、その結果についても知らせてほしい。	例年、4月から5月にかけてカラスの駆除を行っていますが、現在は猟銃の取扱いが厳しくなっていることや、カラスが悪賢いことから駆除数は年間5～10羽となっています。引き続き努力しますのでご理解をお願いします。
⑩防災無線	隣接の栗山・大掛町内にはあるが大窪町内には防災無線のスピーカーが設置されていないため、風雨の際は聞こえないので、町内にスピーカーを設置してほしい。	防災無線は家屋の2重サッシやテレビの音などの要因により物理的に全ての世帯で聞こえるということが難しいため、防災ラジオの設置や滑川市メール配信サービスの利用を推奨しています。 なお、防災無線は国の方針により約3年後にアナログからデジタルに移行しますので、その際、より聞こえやすい方策を検討します。
⑪サイレン	火災があった際、当該地区でしかサイレンが鳴らないのでどこで火災があったか分からない。 また、寄り回り波で危険がある場合にも鳴らせばよい。	サイレンを鳴らすということは、火災等があったことをお知らせする一番分かりやすい方法だと考えていますので、各地区の分団が手動で鳴らすことを徹底しています。 なお、東部消防組合(0765-22-9999)に電話されるか、滑川市メール配信サービスへの登録により、火災情報等をご提供しており、市広報でも再度周知したいと考えています。 また、防災無線のデジタル化への移行時に、全地区でサイレンを鳴らすことや寄り回り波への注意など、内容によりサイレンの音色を変えることも検討します。

H29春に開催の「市長と語る会」での提言等と回答要旨に対する進捗状況について

早月加積地区

提言等の項目	H29春に開催の「市長と語る会」	
	皆さまからいただいた主な提言等	その際の回答要旨
⑫あいらぶ湯	市民交流プラザが6月に開館10周年を迎え、記念イベントを考えていると思うが、あいらぶ湯の山側からの立山連峰の眺望が素晴らしいので、窓ガラスに山の絵を描き、名称・標高を記載してはどうか。 また、鉄道会社に掛け合って、電車の窓から見える山をPRし、観光客を呼び込んでほしい。	あいらぶ湯は10周年記念イベントだけでなく、これまでも随時、様々なイベントを行い利用される方に親しんでいただいています。 市から見える立山連峰の眺望は素晴らしく、そのPRについて方策を検討します。
⑬観光船事業	富山湾岸クルージングは来年度は再開するのか。 今年度、ほたるいか海上観光が中止になったという報道が全国的に知れ渡ったこともあり、市の観光船を使った観光事業の再開は県内ではなく、県外・国外にPRすることが重要である。	富山湾岸クルージングは今年度中に再開できないか検討しており、関係機関と調整中です。市の船を使った観光事業について、より多くの方に楽しんでいただくため、再開の折にはあらゆる手立てを使いPRするとともに、市民の皆さまにもお知らせします。